

シリーズ(その⑨)

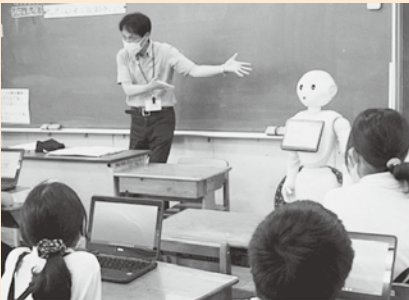
# トライシティー TRY ICT やすぎ

ICT (情報通信技術) を活用した教育で学校や教室が変わる様子をシリーズでお伝えしています。

## ロボットを使って、創造性と表現力を育む

夏休みを前にした7月、荒島小学校の4年生が人型ロボット Pepper (ペッパー) のプログラミングの学習を楽しみました。

Pepper は今年度市内小学校に3台配置され、移動しながら6校で活用されています。人とロボットとのより円滑なコミュニケーションをつくることを目的に、Pepper にしゃべらせたりすることはもちろんのこと、会



▲子どもたちがプログラムした言葉や動きを披露する Pepper。※「Pepper」はソフトバンクロボティクスの商標です。

話、ディスプレイ表示、音の再生、タッチセンサなどを使い、プログラミングをしていきます。ロボットが人とコミュニケーションをとる姿を想像してプログラムを組むことで、子どもたちに創造性と表現力を育むことを期待した学習です。子どもたちは「自分の紹介を Pepper にしてもらおう」というめあてを持ち、そのためプログラムを組んできました。まずは自分について、どんなエピソードをどんな順で、どんな言葉を使って、どんなスピードで表現するのかを考え、その際のふさわしい体や手の動き、ディスプレイ表示等をワークシートにまとめてイメージしてみました。

### 問い合わせ

学校教育課 ☎23-3180

日本遺産を巡るたたら  
の音色

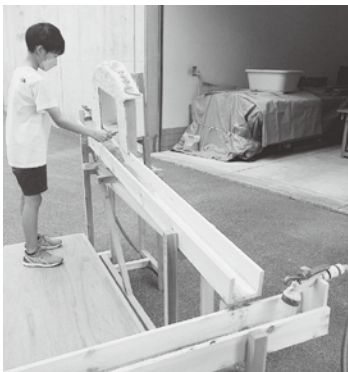
日本遺産の  
構成文化財  
連載⑦



今月号は連載④(7月号)で紹介した鉄穴流しによる砂鉄採取。7〜8月、実際に模型を使い「夏休み子供企画」として実施した体験学習の様子を通じてご紹介します。



①砂鉄を含んだ山の崖(切羽)をイメージした模型。鉄穴師に扮した子どもたちは上流から引かれた水路に打鍬(切り崩す道具)を使い、切り崩していきます。



②途中で足し水をしながら土砂が下流へ流れていきます。



③樋に溜まった土砂を洗鍬で上流に向けて押し戻して軽い土砂を流し、砂鉄の純度を上げます。



④土砂交じりから段々と黒々とした砂鉄が集まって来ました。成功です！



▲参加者の皆さん。

溜まった砂鉄を手にとり、取って感触を確認する子どもたち。自然の恵みと先人の知恵を知る貴重な体験になっていました。

### 問い合わせ

和鋼博物館 ☎23-5500

